病棟・外来	化学療法ワークシート <dcf療法></dcf療法>	第コース
I. 基本情報		
思者ID @PATIENTID 生年月日 @PATIENTBIRTH3	DCF療法(ever	day1·2·3·4·5·····day22
	DTV(ロンねもソテール) 70mm/m²	day1 2 3 4 3 day22 ∫
患者氏名 @PATIENTNAN	TE CDDP(シスプラチン) 70mg/㎡	in→
性別 @PATIENTSEXN	5-FU(フルオロウラシル) 750mg/m ²	1 1 1 1 1
年齡 @PATIENTAGEFORMAT		
〈疾患名〉	〈前コースの化学療法開始日〉	年 <u>月</u> 日
□ 食道がん(術前補助療法)	┃ (前コースの投与量) ┃ ロンタキソテール シスプラチン	フルオロウラシル
告知 <u>□ あり</u> <u>□ な</u> し	mg mg	mg
Ⅱ.化学療法実施過程		<u> </u>
	合はDr.に確認を行った後、薬局3689に連絡する)	
	第1日目 第2日目 第3日	第4日目 第5日目 第6日目
薬剤名 規格	数量	
」 1)生食 1000mL	× 1B	
アスパラカリウム注 10mEq/10mL	× 2A	
硫酸Mg補正液 20mEq/20mL	×1A	
(持続点滴メイン:4時間)		
2) プロイメンド点滴静注用 150mg/V	× 1V	
生食 100mL (持続点滴メイン: 0.5時間)	×1B	
(行称(点/向クイン: 0.5時间) 3) パロノセトロン点滴バッグ 0.75mg/50mL	×1B	
デキサート注	× 3A	
(持続点滴メイン:5分)		
4) ワンタキソテール 80mg/4mL ×	()V	
ワンタキソテール 20mg/1mL ×		
生食 250mL (持続点滴メイン:1時間)	X1B	
	, », 	
5) シスプラチン 50mg/100mL × シスプラチン 25mg/50mL ×		
シスプラチン 10mg/20mL ×		
生食 500mL	X1B	
(持続点滴メイン:2時間)		
6) フロセミド注 20mg/2mL	×1A	
生食 50mL (持続点滴側管:5分)	×1B	
7) デキサート注 3.3mg/1mL	×3A	
生食 50mL	×1B	
(持続点滴メイン:5分)		
7) デキサート注 3.3mg/1mL	×2A	
│ 生食 50mL │ (持続点滴メイン:5分)	×1B	
		¬ — —
8) フルオロウラシル 1000mg/20mL × フルオロウラシル 250mg/5mL ×		
生食 1000mL	X1B	
(持続点滴メイン:24時間)		
9)生食 500mL	X1B	
(持続点滴側管:1時間)		_
9) 生食 1000mL (技統占流側管: 4時間)	X1B	
│ (持続点滴側管:4時間) │		_
10) 生食 50mL 50mL	X1B	
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出 <dtx·cddp·5-fu投< td=""><td>与量 > <備考欄></td><td></td></dtx·cddp·5-fu投<>	与量 > <備考欄>	
□前コースと投与量同じ(2コース目	7 = 7	予定。
体表面積(m²)		
DTX(ワンタキソテール) 投与量(= 70mg/m ² ×体表面積($\frac{\text{mg/body}}{\text{m}^2) \times (}$	
	· · · <u> </u>	
CDDP(シスプラチン) 投与量(mg/body) <u>主治医</u>	薬剤師 薬剤師
= 70mg/m ² ×体表面積(m^2) × (%)	
5-FU(フルオロウラシル) 投与量(
= 750mg/m ² ×体表面積(m ²) × (%)	

病棟・外来 化学療法ワー	-クシー	ト <dt></dt>	(単独療法(食)	道がん)>	第	コース
I. 基本情報 B者ID @PATIENTID] <i>[</i>	DTX単紅	虫療法(食道がん)	プロトコール	(every 3 w	
生年月日 @PATIENTBIRTH3					••• day22	
患者氏名 @PATIENTNAME	DTX(ワ	ンタキソラ	ル)70mg/m ²	\downarrow	next in↓	
性別 @PATIENTSEXN					₩ Ψ	
年齢 @PATIENTAGEFORMATTED						
〈疾患名〉	11 11	_	療法開始日〉	年	月	日
□食道がん □ □ □	11 11	·スの投与 キソテール				
告知 □あり □なし		mį				
Ⅱ・化学療法実施過程	ᅺ	1 – Trbr=₹1	<i>+ 仁 + 後</i> 英日/	2001- 连级士	7 \	
*投与日当日のチェック事項 (記載のなし	<u>v場合はD</u>	<u>r. に催認</u>	を行った後、楽局で	3689に理絡する 】	ර)	
			 第1日目	_		
薬剤名 規格	数量		(
1) デキサート注 3.3mg/1mL かっことでは、 3.3mg/100mL		× 2A × 1B				
(持続点滴:0.5時間)						
 2) ワンタキソテール 80mg/4mL	×()V		7		
ワンタキソテール 20mg/1mL	×Ì)V				
生食 250mL (持続点滴:1.5時間)		X1B				
				-		
3) 生食 50mL (### Lix Aller 3 = 1.1) R)		× 1B				
(持続点滴:全開で フラッシュ用)				J		
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出						
<dtx投与量></dtx投与量>			<備考欄>			
│ □前コースと投与量同じ(2コース目以降(身長(cm) 体重(のみ)	Kg)				
体表面積(m ²)		Ng/				
DTX(ワンタキソテール)投与量(mg	/body)				
	²) × (%)				
			主治医	薬剤	色布	薬剤師
			포계즈	※ 別	םווז	未用咖
			L * Dr. が二重約	温の协内を記っ	 ス ア	
				^{家の} 件内を記り :30までに薬局		ください。

基本情報 Read PATIENTID PATIENTID PATIENTID Read PATIENTID Read PATIENTID Read PATIENTID Read PATIENTID Read PATIENTSEN Read PATIENTSEN PATIENTSEN PATIENTSEN PATIENTAGEFORMATTED PA	病棟·外来 化 学療法 「	フークシ	/ —}	· <i< th=""><th>FLC</th><th>P(</th><th>low</th><th>dos</th><th>eFF</th><th>P)></th><th>•</th><th>第</th><th>5</th><th></th><th></th><th>コース</th></i<>	FLC	P(low	dos	eFF	P)>	•	第	5			コース
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		, <i>,=</i>														
世名氏名 (PATIENTNAME 作割 字のATIENTSEXN 字ATIENTAGEFORMATTED) (本語 学科 □ あり □ なし	10, A	<u> </u>		FL	DP(~26.	28
### PATIENTSEXN						ig/m²		<u>.</u>	→		→		→			
作動		5-FU(フルオロ	ウラシル	l) 33	0mg/	m ²	←								→
情報	•—••] <u>[</u> _														
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	〈疾患名〉	(前コー	-スの	化学	療法	去開始	台日〉	ź	¥ 月	日						
佐知 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	□胃がん □食道がん	11 11														
# 投与自当日のチェック事項(記載のない場合はDr. に確認を行った後、薬局3689に連絡する) 第1. 2週目	 告 知 □あり □なし	シフ	スプラ			フルス	ተロウ	-								
#1. 2週目	Ⅱ.化学療法実施過程	*場合は[)r. (3			うった	:後、			に連	絡す	-る)				
#1. 2週目																
1) フルオロウラシル 1000mg/20mL ×(第1. 2週目		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
フルオロウラシル 250mg/5mL ×()V 生食 500mL ×()V シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL ×()W 生食 500mL ×()V フルオロウラシル 1000mg/20mL ×()V 生食 500mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL ×()D 500mL	薬剤名 規格 数	(量	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
生食 (持続点滴: 24時間)	_															
2) シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴) 第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第第	生食 500mL	-														
### 33. 4週目)V	\vdash	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	1			<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			
### ### ### ### #####################	シスプラチン 25mg/50mL ×()V														
#3. 4週目		-														
# 3. 4週目		ΛID														
# 3. 4週目				T	1	1	ı	ı		1	1	1	ı			
# 3. 4週目																
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	第2 4 周日															
1) フルオロウラシル 1000mg/20mL ×()V フルオロウラシル 250mg/5mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴: 24時間) 2) シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴) III. 化学療法剤投与量算出	第3. 4週日															
フルオロウラシル 250mg/5mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴: 24時間) 2) シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴) ■ (構考欄> <(DDP、5-FU 投与量> □前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)			_/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
生食 500mL X1B (持続点滴:24時間) 2) シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴) □. 化学療法剤投与量算出 < CDDP、5-FU 投与量> □前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ) ★釈液の生食は、薬剤を入れるために適宜破棄してよい。	_															
2) シスプラチン 50mg/100mL ×()V シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴)	生食 500mL															
シスプラチン 25mg/50mL ×()V シスプラチン 10mg/20mL ×()V 生食 500mL X1B (持続点滴) Image: State of the		\\\					 	<u> </u> 					 			
生食 500mL X1B																
 (持続点滴) □. 化学療法剤投与量算出 <cddp、5-fu 投与量=""></cddp、5-fu> 一前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ) 希釈液の生食は、薬剤を入れるために適宜破棄してよい。	I =															
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出< CDDP、5-FU 投与量>前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)希釈液の生食は、薬剤を入れるために適宜破棄してよい。		ΛID														
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出< CDDP、5-FU 投与量>前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)希釈液の生食は、薬剤を入れるために適宜破棄してよい。						く備え	 考欄	>								
< CDDP、5-FU 投与量> 希釈液の生食は、薬剤を入れるために適宜破棄してよい。 □前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ) カースと投与量のでは、薬剤を入れるために適宜破棄してよい。						· thu ·	J [[本] 。									
□前コースと投与量同じ(2コース目以降のみ)					ر د ا ر	≱	ቴ ጉ ጉ	- 企 口	- 本·	如子 .	1 do 7	L+_ W	リーン学	rian ፒተኮ ነ	毎!っ	1 >
						力机化	メリゴ	こ良は	、	刊でノ	ヘイレる	01=Q)	リー週	且 呶	来し(. みし' 。
	身長(cm) 体重(JUF)	k	(g)	_				7							
体表面積(m²) <u>主治医</u> <u>薬剤師</u> <u>薬剤師</u>	体表面積(m ^²) 					Ξ	E治l	<u>医</u>			薬剤	明師	4	-	薬	削師
CDDP(シスプラチン) 投与量(mg/body)			g/boo	-												
- / hmg/m~× 1不去 向		²) × (/1	%)		<u> </u>	, .] " <u> </u>		<u> </u>	<u> </u>	_ _			
- 7.5mg/m ^ 本女 田慎 \	」 5−FU(フルオロウラシル)投与量(m	g/hor	4v)] .	* D'	- ti	一舌	絶の	かば	た記	λ I .	7			

= 330mg/m²×体表面積(

m²) × (

%)

2024/7/2

開始前日10:30までに薬局へ提出してください。

病棟・外来	化学療法	もワーク	ウシート<	FP 療法(4週旬	≨)>	第	コース
I. 基本情報	DATICALTID		 -				~ -
	PATIENTID ATIENTBIRTH3		FP	(4週母)ノ	コトコール(ever day1 2 3	y 4 weeks, 3 4 5 6) • • • • • • day29
 患者氏名	TIENTNAME		フルオロウラシノ	_	_	1 1 1 1	next
性别 @P	ATIENTSEXN	CDDP	(シスプラチ	ーン) 80mg/n	n ↓		in→
	ITAGEFORMATTED						
11	ים יבי יבי יבי יבי יבי יבי יבי יבי יבי י			寮法開始日〉	年月日		
□食道がん	(進行•再発) ▮		-スの投与: ⁻ ロウラシル		.,		
告知 あり 「	なし	7707	mg		mg		
Ⅱ. 化学療法実施過程 *投与日当日のチェック		はDr. に	:確認を行っ	た後、薬局3689に	三連絡する)		
				第1日目 第2日目	第3日目 第4日目	第5日目 第6	6日目 第7日目
薬剤名	規格	数量					
1) ソルデム3A (持続点滴メイン:6	500mL 時間)		X1B				
2) ソルデム3A (持続点滴メイン:1	500mL 2時間)		X1B				
3) イメンドカプセルセ (内服:シスプラチン			× 1セット	125mg	80mg 80mg		
4) パロノセトロン点滴バッグ 0. デキサート注 (持続点滴側管:0.	3.3mg/1mL		× 1B × 3A				
4) デキサート注 生食 (持続点滴側管:0.	3.3mg/1mL 100mL 5時間)		× 2A × 1B				
5) フルオロウラシル 10 フルオロウラシル 生食 (持続点滴メイン: 2	250mg/5mL 1000mL	×(×()V)V ×1B				
6) シスプラチン 5 シスプラチン シスプラチン 生食 (持続点滴側管:28	25mg/50mL 10mg/20mL 500mL	×(×(×()V)V)V X1B				
7) フロセミド注 ラクテック (持続点滴側管:4F	1000mL		× 2A × 1B				
8) ラクテック (持続点滴側管:58	500mL 寺間)		X1B				
9) 生食 (持続点滴メイン: <u></u>	50mL 全開で フラッシュ用)		× 1B				
Ⅲ. 化学療法剤投与量				, 11 11 100 			
	· <u>FU·CDDP投与量></u> 引じ(2コース目以降のる	み)		<備考欄>			
身長(体表面積(cm) 体重(m ²)		Kg)		投与 日体重測定する を250mL以上使		- /十 茶 刻 た
5-FU (フルオロウラシル)投与量(mg	g/body)		を250mL以工使 希釈の生食を適		
= 800mg/m ² ×体表	·面積(m²))	× (%)	主治医	薬剤	師	薬剤師
CDDP(シスプラチン)投与量(mg	g/body)				
	面積(m²))		%)	L* Dr. が二重 開始前日1	<u>リ</u> 巨線の枠内を記 <i>り</i> 0:30までに薬局	 へして へ提出して	ください。

病棟・外来 化学療法ワーク	フシート <nivolumab+< th=""><th>├Ipilimumab療法(食道がん)></th><th>第コース</th></nivolumab+<>	├Ipilimumab療法(食道がん)>	第コース
I. 基本情報	, '= <i></i>		
│ 患者ID @PATIENTID │生年月日 @PATIENTBIRTH3	Nivolumab + Ip	ilimumab療法(食道がん)プロ	<u> </u>
	Nivolumab(オフ	パジーボ) 240mg/body ↓	↓ ↓ next
患者氏名 @PATIENTNAME	Ipilimun	nab(ヤーボイ) 1mg/kg ↓	in→
性別 @PATIENTSEXN	j		
年齢 @PATIENTAGEFORMATTED] [_		
〈疾患名〉	(前コースの化学	療法開始日〉	年 月 日
□食道がん(進行・再発)	(前コースの投与	量〉	
 告 知 □あり □なし	┃┃ オプジーボ m _i	ヤーボイ g mg	
Ⅱ. 化学療法実施過程	<u> </u>	<u> </u>	
*投与日当日のチェック事項(記載のない	ヽ場合はDr. に確認	を行った後、薬局3689に連絡す	たる)
			」
薬剤名 規格	数量		
1) 生食 100mL	× 1B		
(持続点滴メイン:ルート確保用)			
2) オプジーボ 240mg/24mL	×()V		
生食 50mL	X1B		
(持続点滴側管:0.5時間)			
3) 生食 50mL	× 1B		
(持続点滴側管:0.5時間)			
4) ヤーボイ 50mg/10mL	×()V		
ヤーボイ 20mg/4mL	×()V		
生食 100mL	30mL		
(持続点滴側管:0.5時間) 			
5) 生食 50mL	× 1B		
(持続点滴側管:全開で フラッシュ用)			
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出			
<nivolumab ipilimumab投与<="" td="" ·=""><td>量></td><td><備考欄></td><td></td></nivolumab>	量>	<備考欄>	
「一前コースと投与量同じ(2コース目以降(の み)	・インフュージョンリアクションを起こ ン錠10mg×1錠、カロナール錠200	
□ 身長(cm) 体重(h表面積(m ²)	Kg)	間前に内服する。	ingへU吹でオフノ―小汉子I时
		【(輸液セット) 【・オプジーボ:インラインフィルター(
Nivolumab (オプジーボ) 投与量 (・ヤーボイ:0.2~1.2ミクロンのメン: ンフィルターを通して投与すること。	
=240mg/body	× (%)	→JMS輸液セット: PVCフリーで可(・本レジメンは化学療法未治療の	上記条件を満たす)
Ipilimumab (ヤーボイ) 投与量 (mg/body)	に使用される。	以山ツは江北は近日・丹尤址例
=1mg/kg			
		主治医薬剤	 師 薬剤師
			<u>жлзий</u>

H23.7 薬局 改訂

病棟・外来 化学療法ワーク	フシート<術前 High	dose FP 療法(3週毎)>	第コース
I. 基本情報		** 	
思者ID @PATIENTID 生年月日 @PATIENTBIRTH3	柳州 HIJ HIgh do	se FP 療法(3週毎)プロトコー day1 2	3 4 5 6 · · · · · day22
患者氏名 @PATIENTNAME	5-FU(フルオロウラシル)	<u> </u>	↓ ↓ ↓ ↓ next
性別 @PATIENTSEXN	CDDP(シスプラチン	\downarrow 80mg/m ²	in→
年齡 @PATIENTAGEFORMATTED	Ĺ		
〈疾患名〉	(前コースの化学療	法開始日〉 年月日	
□食道がん	(前コースの投与量 フルオロウラシル		
告知 □あり □なし	mg	クヘノファン mg	
	- ☆はDr に確認を行った	後, 薬局3689に連絡する)	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1000000	DX SX	
			」
薬剤名 規格	数量		
1) ソルデム3A 500mL (持続点滴メイン:6時間)	X1B		
2)ソルデム3A 500mL (持続点滴メイン: 12時間)	X1B		
3) イメンドカプセルセット (内服:シスプラチン投与1~1.5時間前)	× 1セット	125mg 80mg 80mg]
4)パロノセトロン点滴パッグ 0.75mg/50mL デキサート注 3.3mg/1mL (持続点滴側管:0.5時間)	× 1B × 3A		
4) デキサート注 3.3mg/1mL 生食 100mL (持続点滴側管:0.5時間)	× 2A × 1B		
5) フルオロウラシル 1000mg/20mL フルオロウラシル 250mg/5mL 生食 1000mL (持続点滴メイン: 24時間)	×()V ×()V ×1B		
6) シスプラチン 50mg/100mL シスプラチン 25mg/50mL シスプラチン 10mg/20mL 生食 500mL (持続点滴側管:2時間)	×()V ×()V ×()V X1B		
7) フロセミド注 20mg/2mL ラクテック 1000mL (持続点滴側管:4時間)	× 2A × 1B		
8) ラクテック 500mL (持続点滴側管:5時間)	X1B		
9) 生食 50mL (持続点滴メイン:全開で フラッシュ用	× 1B		
Ⅲ. 化学療法剤投与量算出		∠/# 1 / ₩ >	
<5-FU·CDDP投与量> □ □ 前コースと投与量同じ(2コース目以降(りみ)	<備考欄> ・治療予定回数:2回	
身長(cm) 体重(体表面積(m ²)	Kg)	・5)、6)は同時投与 ・投薬中は毎日体重測定する ・シスプラチンを250mL以上化	
5-FU(フルオロウラシル)投与量(mg/body)	・シスプラテンを250mL以上1 入れるために希釈の生食を	
= 800mg/m ² ×体表面積(m ²) × (%)	主治医薬剤	連動 薬剤師
 CDDP(シスプラチン) 投与量(mg/bodv)		
) × (%)	L L	